

New Crown 第4回 Lessons

Lesson 4-1: 肯定の命令文（一般動詞編）

命令文とは「書きなさい」「使いなさい」といった、「～しなさい」といった文です。しかし、言い方によって『強制』だけでなく『提案』のニュアンスも含めることができます（料理のレシピは、基本的に命令文が使われます）。命令文では「一般動詞」と「be 動詞」で文の形が異なりますので、ここでは「一般動詞の肯定の命令文」だけを学んでいこうと思います。

肯定の命令文では、主語がなく、動詞の原形（辞書で調べる形）から始めます。

【肯定の命令文（一般動詞編）：基本の形】

一般動詞の原形＋～.

(～を「一般動詞」しなさい)

<例> Write your name here. (ここにあなたの名前を書きなさい)

Use my pen. (私のペンを使って)

【作り方】

ステップ1: You を主語にした肯定文を作る。

ステップ2: 主語の You を取る。

<例1: ここにあなたの名前を書きなさい>

ステップ1: You を主語にして肯定文を作る。「(あなたは) ここにあなたの名前を書きます」

 You write your name here.

ステップ2: 主語の You を取る。

 Write your name here.

<例2: 私のペンを使って>

ステップ1: You を主語にして肯定文を作る。「(あなたは) 私のペンを使います」

 You use my pen.

ステップ2: 主語の You を取る。

 Use my pen.

【ポイント】

and を使って2つの命令文をつなげることも可能

and を使うことによって、2つの命令文をつなげることができます。

<例> Go home **and** do your homework. (家に帰ってあなたの宿題をして)

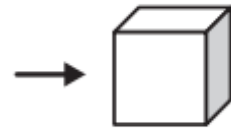
Lesson 4-2: 前置詞②

1. **for** = ～へ (宛て) / (朝食・人などの) ～のため / ～に対して

<何かに向かっていているイメージ>

<例> They are **for** you. (それらはあなた宛です)

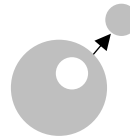
I need it **for** my family. (私は家族のためにそれが必要です)



2. **of** = ～の / ～の所有する / ～に属する <ある物の一部といったイメージ>

<例> the teacher **of** my class (私の授業の先生)

the name **of** your dog (あなたの犬の名前)



【注意事項】

1. **the** ○○ **of** ～ (the teacher of ～ など) のように、最初には **the** が使われることが多い。その理由は、その後の **of** で「何の○○なのか」限定されているから。

<例> **the** number of our bus (私たちのバスの番号)

<番号なら何でもよいのではなく、「私たちのバスの番号」と限定されている>

2. 日本語に訳す場合、**of** の後ろが「～の」となり、英語と順番が逆になるので注意。「後ろから訳す」と教える先生も多い。

<例> the number of our bus →英語の順番は「番号、私たちのバスの」

the name of your dog →英語の順番は「名前、あなたの犬の」

Lesson 4-3: 疑問詞① (How about ~? / What ○○ ~?)

ここでは「～ (について) は、どうですか」という意味の How about ~? と「何の○○が～ですか」という意味の What ○○ ~? という疑問文について学んでいきます。この2つの大きな特徴は「文頭で使われる」ということです。

(1) How about ~? = ~ (について) は、どうですか

<例> A: I like math. B: How about science? <A: 私は数学が好きです。 B: 科学はどうですか?>

[補足説明]

「about ~ = ~について (前置詞)」「How ~? = ~は、どうですか」という意味。「彼らはどうですか」のように“How about 代名詞?”となる場合、代名詞は目的格が使われる。

<例> I like math. How about *them? (私は数学が好きです。彼らはどうですか)

(2) What ○○ ~? = 何の○○が~ですか (～には疑問文が入る)

<例> What fruit do you like? — I like apples. <何の果物が好きですか — 私はリンゴが好きです>

[補足説明]

「What = 何」という意味。What ○○ ~? の、～のところには疑問文が入る。文の作り方は

ステップ 1: 「何の○○」の部分に「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を **what ○○** に戻す。

ステップ 3: What ○○を**文の先頭**に持ってくる。

<例: あなたは何のフルーツが好きですか>

ステップ 1: 「何の○○」の部分に「**適当な単語**」を入れて疑問文を作る。

「何のフルーツ」の部分「**リンゴ**」に → 「あなたは**リンゴ**が好きですか」

Do you like apples?

ステップ 2: 入れた「**適当な単語**」を **what ○○** に戻す。 apples → what fruit に戻す。

Do you like what fruit?

ステップ 3: **Where** を文の先頭に持ってくる。

What fruit do you like?

【ポイント!】

I like apples. と複数形になるので注意

可算名詞の場合、基本的に「一般的なものを指す場合は複数形を用いることが多い」というのがあります。例えば「私は、リンゴが好き」という場合、基本的には1つのリンゴが好きなのではなく、リンゴ全般が好きなので I like an apple. ではなく、I like apples. と複数形になります。